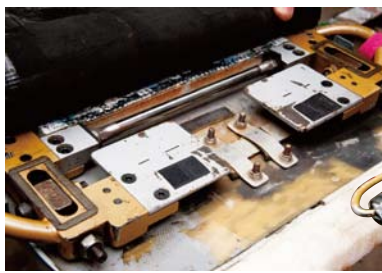


# 和歌山の優れた技術が日本の成績を支える

石のように固い雪上を時速120キロ超で滑走する五輪競技スケルトン。僅かなミスや異常が事故につながりかねないそのソリを製作しているのが和歌山市の金属加工工場「ニギテック」だ。日本スケルトン界の先駆者で五輪3大会連続出場の大和宏選手が使うソリは当初外国製だったが、世界トップクラスに成長したことで販売を敬遠され、仁儀社長に製作依頼が舞い込んだ。世界を知る男の頼りがいだ。世界を知る男の頼りがいだ。世界を知る男の頼りがいだ。



(有)ニギテック

住所/和歌山市和歌町13  
電話/073-422-4993



様々な部品が組み合わさり、まるでパソコン内部のようだ。状況に応じて選手自らが細かい調整を行うことができる。

選手の身体にピッタリ沿うようにカスタマイズされたソリ。



## 飽くなき情熱 和歌山から世界へ



阪本直也  
Sakamoto Naoya

スプリント カヤックシングル200m

カヌーでメダルに挑戦！  
和歌山期待の阪本選手。

日本中のアスリートが集まる、和歌山ナショナルトレセン。



ナショナルトレーニングセンター

住所/和歌山市毛見1514  
和歌山マリナーシティ内  
電話/073-448-0251

正式には(NTC=)ナショナルトレーニングセンター 競技別強化拠点(セーリング競技)。風を受け海上を走る全競技対象で国内唯一の施設。

和歌山市の和歌山マリナーシティ周辺は温暖な気候で日照時間も長く、一年を通して安定した風が吹く国内有数のセーリング好適地。きれいな海にテマパーク、ホテル、温泉などを備える関西屈指のリゾート地でもある。そこに文部科学省指定で国内唯一のセーリング競技のNTCがある。国内トップ選手が集まる強化合宿やジュニアの発掘育成だけでなく、競技艇の開発や改良、自然環境の調査などのために大学研究機関や企業など日本中の英知が結集、セーリングに関するすべてを収集提供している。国際大会も開かれるその海は世界につながっている。

ロンドン五輪、カヌー・スプリントの日本初代表に選ばれた阪本直也選手は和歌山県田辺市出身の23歳。昨年イランで開かれたアジア予選で3位入賞し、その栄冠をつかんだ。カヌーを始め、たきつけは友人と共に入部した高校のクラブ活動。練習は主に市内の文里湾だったという。

片膝立ちの姿勢は重心が高くなるためバランスをとるのが難しく、転覆のリスクが大きい反面、体を大きく使えば力強く漕ぐことができ、ダイナミックだ。「次の五輪をも視野に入れ、ロンドンでは決勝まで進み、世界のトップクラスの仲間入りを果たしたい」と力強く抱負を語る。